地域部会の取組み

1．組織のねらい

⑴　部会や委員会、関連組織の情報を共有し、地域の問題を解決するため連携を図るとともに、その実現に向けて協議を行います。

⑵　小学校区を基本とするネットワークの充実を図り、地域福祉活動や保健・医療・福祉・教育と連携した地域の役割を担うシステムづくりを協議します。

2．委員構成

自治総連合会、社会福祉協議会、ボランティア連絡協議会、民生委員・児童委員協議会、老人クラブ連合会、食生活改善推進員協議会、衛生協会連合会、小学校校長会、警察署、消防署、市民センター、行政。

3．平成21年度活動目標

⑴　地域の団体の連携

地域団体がより連携を進められるよう、
①地域連携を促進する事業等を検討・実施していきます。
②個人情報の取扱いや情報を共有するための手順などについて検討していきます。
③より多くの団体と連携を進める検討をしていきます。

⑵　若松あんしんネットワークのＰＲ

子どもからお年寄りまでが、住みなれた地域や家庭で安心していきいきと暮らしていける地域社会づくりへの取組みを行っている「若松あんしんネットワーク」と「その活動」についてホームページ等を活用して、地域住民に広報、啓発していきます。

4．平成21年度活動内容

⑴　部会開催状況

第１回８月６日(木)、第２回１１月２５日(水)、第３回３月１０日(水)

⑵　地域連携を促進する事業の取組み

①校区あるきing、高齢者バスハイク支援

若松区内10校（地）区での「あるきing」、3校（地）区での「バスハイク」を支援しました。

②構成団体との連携促進と広報・啓発のための「支援・啓発ツール」の作成

地域団体の①「本来活動を支援する」、②「活動に関心を持っていただく」、③「ツールの活用により推進協をＰＲする」目的で、「支援ツールや啓発ツール」を開発・作成しています。平成21年度は次の３つについて取組みました。

・自治会の回覧板作成
・主任児童委員のちらし作成
・若松あんしん情報セットの追加作成

支援・啓発ツールの作成
P28 資料①
若松あんしん情報セット
P30 資料③

⑶　個人情報の取扱いについて

若松あんしんネットワークでは、平成20年度に地域団体を対象に個人情報の取り扱いについてのアンケートを行いました。その結果、地域の方々が個人情報を提供する際に、情報の管理に不安を感じていることが分かりました。そのため、平成21年度は、このような事例を減らすことを目的として地域の団体を対象に研修を行うとともに、個人情報の伴う書類の取扱いに十分注意を促すために、啓発クリアファイルを配布しました。

個人情報の取扱い
P29 資料②

⑷　より多くの団体との連携について

介護保険部会での「社会資源情報のワーキンググループ」に、平成20年度から引き続き委員を派遣して連携を進めています。また、若松歯科医師会主催の「あんしんお口フェア」、若松薬剤師会主催の「若松健康セミナー」の事業と連携し、PRの協力を行いました。

⑸　若松あんしんネットワークのＰＲ

①ホームページの積極的活用・構成団体の事業との連携

これまでに引き続き、構成団体の活動情報等をタームリーにアップしました。また、新たに、若松区内で発生した猿の出没情報や強盗未遂逃走情報といった、安全に関する情報もホームページ上に掲載し、注意喚起を促しました。

②衛生だよりへの連載

平成20年11月号より「衛生だより」に若松区の地域性のある身近な話題の推進協のＰＲ記事を掲載しています。平成21年度は、各部会の活動報告や催しのお知らせを紹介しました。

【若松区衛生だより＝Ａ３一色、毎月1日発行、若松区自治会で衛生連合加入全世帯に配布】

5．平成22年度の取組みの方向性

⑴　地域の団体の連携

地域団体がより連携を進められるよう、

① 地域連携を促進する事業等を検討・実施していきます。

② 個人情報の取扱いや情報を共有するための手順などについて検討・啓発していきます。

③ いのちをつなぐネットワークとの連携や活動支援を行うために、より多くの団体と連携を進める検討をしていきます。

⑵　若松あんしんネットワークのＰＲ

子どもからお年寄りまでが、住みなれた地域や家庭で安心していきいきと暮らしていける地域社会づくりへの取組みを行っている「若松あんしんネットワーク」と「その活動」についてホームページ等を活用して、地域住民に広報、啓発していきます。

「支援・啓発ツール」の作成

資料①

回覧板の作成

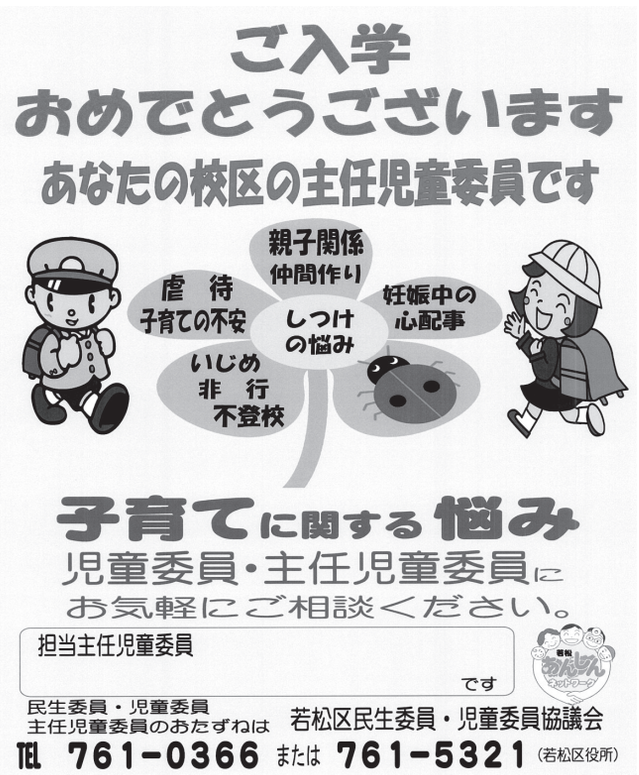
表紙に「若松あんしんネットワーク」のロゴを入れた回覧板を作成し、若松区内の自治会に約2,000個を配布しました。回覧板は全ての自治会加入世帯が目を通すので、広告力が高く、ＰＲ効果が期待できます。

当初は、紙製の回覧板の予定でしたが、作成過程で委員の方々より、「雨に濡れても無事な方がよいのではないか。」や「見開きタイプの方かよい」という意見をいただいた結果、プラスチック製の見開きタイプの回覧板にロゴを印刷することとしました。

主任児童委員のチラシ

主任児童委員の存在を周知し、相談につなげるためにチラシを作成して、小学校入学説明会などで保護者に配布しました。

子育てに対する不安や悩みを相談できる存在がいることを周知することで、保護者の安心につながるうえに、主任児童委員の活動の支援にも繋がります。



個人情報の取扱い

資料②

個人情報の取扱いに関する研修

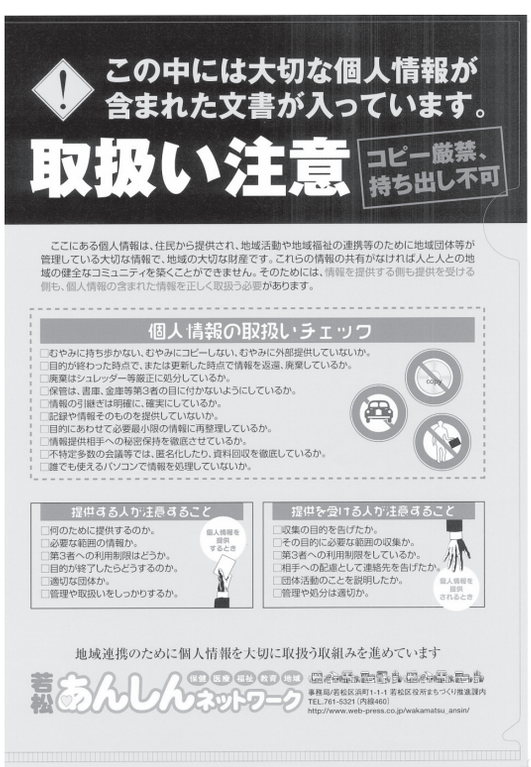
平成21年度は、下記の3ヶ所で研修を行いました。個人情報の取扱いは、一度研修を受けて終わりというものではなく、繰り返し行うことで、適切な情報の管理につながることから、今後も多くの団体に対して研修を継続して行います。

月　　日	団体名	内容
11 月 11 日（水）	図書館ボランティア養成講座	図書館のボランティア活動における個人情報保護について
11 月 17 日（火）	浜町地区社会福祉協議会	地域の福祉活動における個人情報保護について
11 月 19 日（木）	江川校区社会福祉協議会	自治会活動での個人情報保護について

地域部会

啓発ツール（個人情報取扱いチェッククリアファイル）の作成

個人情報の取扱いで注意すべき点に、情報漏えいや流出の問題がありますが、個人情報の流失は「つい、うっかり」というものが多くなっています。そこで、個人情報の伴う書類の取扱いに十分注意を促すために、取扱いチェックリストを印刷したクリアファイルを作成し、配布しました。



▲（表）

▲（裏）

若松あんしん情報セットについて

資料③

平成21年２月に作成した「若松あんしん情報セット」ですが、平成21年度はその普及に努めました。また、ユニークな取組みということで、テレビ、ラジオ、新聞などにも取上げられたこともあり、他地域からの問い合わせも多く平成22年４月からは北九州市の５区でも同様の取組みを行うこととなりました。

⑴ 作成の目的

これまでも、緊急時の連絡先を整理し、保管する取組みは家庭用リーフレット「若松区あんしんホットライン」として行っていました。しかし、「若松区あんしんホットライン」は、自分自身か関係者同士で保管場所を決めるため、保管場所がまちまちで、関係者以外はその情報を共有できないうえに、いざというときにその保管場所が分からずに役立てないという課題がありました。そこで、保管場所を統一し、より役立つものとするために作成しました。

⑵ 対象者、配布方法、配布個数

若松区に住む、一人暮らしや一人でいることの多い高齢者、障害者、健康上不安を抱える人を対象としています。

まず、平成21年2月に若松区民医学講座の参加者に約600個を配布しました。

その後は、地域の民生委員やケアマネージャー、地域ボランティアの方々が、身近にいる対象者一人ひとりに配ってくださり、配布個数は平成22年3月末で約1,400個、全体で約2,000個を配布しています。

⑶ 配布してからの反応

当初は、保管場所を統一することを目的として作成したのですが、配布方法を「民生委員などの地域活動をしている人に配ってもらう」としたことで思わぬ効果も生みました。

これまでは、民生委員や地域ボランティアが訪問しても受け入れてくれなかった方が、「若松あんしん情報セット」に興味を示し、話をすることができました。

また、一度配布して終わりではなく、その後の情報更新を促すために、訪問することで繋がりを保つことができるなど、コミュニケーションツールとしても活用できることが分かりました。

⑷ 他の地域からの反響

若松あんしん情報セットの取組みが、テレビ、ラジオ、新聞で紹介されたこともあり、他の地域から、自分たちも取組みたいとのお問い合わせがありました。そのうちのひとつ、下関市では実際に取組むこととなったほか、北九州市においても若松区の他の4区でも同様の取組みを行うこととなりました。

北九州市で取組むこととなった「スマッキー」▶

若松あんしん情報セットが元になってできました。

容器や仕組みは、若松あんしん情報セットと同じものですが、キャラクターが北九州市版はスマッキー（北九州市健康イメージキャラクター）になっています。

若松版　カッパ

▶下関市で取組むことになった「フクちゃん」

下関名産の「ふく」をキャラクターとした「フクちゃん」です。

下関東ロータリークラブさんが製作しました。

仕組みは若松あんしん情報セットと同じです。

あんしん情報セットパンフレット

資料③

若松あんしんネットワーク

高齢者・障害者・一人暮らしの不安も「へのかっぱ」!!

若松 あんしん 情報セット

パーソナル情報を整理して万一の緊急事態に備えよう

どこで飼えるの?

冷蔵庫で飼えるよ!

「若松あんしん情報セット」とは
自分自身の情報を整理して
万一の緊急事態に備えるための
道具がセットになったものです。

冷蔵庫でかっぱを飼おう

若松区で安心して暮らしたい。
それなら「かっぱ」を飼おう。
「かっぱ」と暮らそう。

家族は?
いつも大切な家族の写真を持ってるよ

どこにいるの?
飼っているお家にはシールを貼ってるよ!!

お世話は?
医療情報に変更があったよ!!
時々、様子を見てあげてね!!

友達になるには?
僕がいるよ!!
プロマイドを持ち歩いてネ

食べ物は?
医療情報が好物なんだ!

「若松あんしん情報セット」って?

A 救急情報専用容器

B あんしん携帯カード
あんしん携帯カード

C 緊急連絡先

「若松あんしん情報セット」とは、自分自身の情報を整理して万一の緊急事態に備えるための道具がセットになったものです。これらの情報を整理しておくことにより、連絡を受けてかけつけた人と関係機関との間で救命のための迅速な連携が期待されます。

❶

高齢者・障害者・一人暮らしの不安も「へのかっぱ」!!
若松あんしん情報セット

「若松あんしん情報セット」利用の目的

高齢者等を対象に自分自身の医療情報や緊急時の連絡先を整理し、「もしも・・・」の緊急時に役立つ情報を備えておくことを目的に、A医療情報を保管するための専用容器、B外出時に役立つ携帯カード、C困った時に役立つ緊急連絡先一覧表、以上の3つをまとめた「若松あんしん情報セット」を作成・配布し、救護活動や関係者の連携促進に活かすものです。緊急時に必要な情報を収集、整理し、自分自身と関わりのある人の把握を行うことで、万一の緊急事態に備えます。

連携推進に活かそう!!

「若松あんしん情報セット」に含まれるもの

A 専用容器とは

高齢者等の安全安心に資することを目的に、緊急時に必要な情報を専用容器に入れ、自宅の冷蔵庫に保管しておくことで万一の事態に備えるものです。この容器は連絡を受けてかけつけた人が緊急の際に活用することで、救命のための迅速な連携が期待されます。(樹脂製)

B あんしん携帯カードとは

外出時等の「もしも…」の際に備えておく携帯カードです。緊急時に必要な医療情報や連絡先をカードに記入し、財布などに入れて持ち歩けるようにしたものです。

C 若松区あんしんホットラインとは

あなた自身や家族が困ったとき、また、緊急時に役立つ便利な連絡先が、まとめられているリーフレットです。
裏面には、あなた自身のホットラインや、地域の方々の連絡先を記入する欄があります。(A4リーフレット)

A 専用容器の準備・保管・表示

●専用容器に入れるもの●
あんしん情報シート、本人写真、薬、診察券・薬剤情報提供書・くすりの手帳等の情報

●保管場所●
【自宅冷蔵庫】
整理した情報を冷蔵庫に保管し、扉等表示しておくことで、連絡を受けてかけつけた人が、有事の際、速やかに情報を活用して連携できます。

●利用同意表示●
【掲示用マグネット】
冷蔵庫の外側に貼る。
【掲示用シール】
玄関の室内側に貼る。

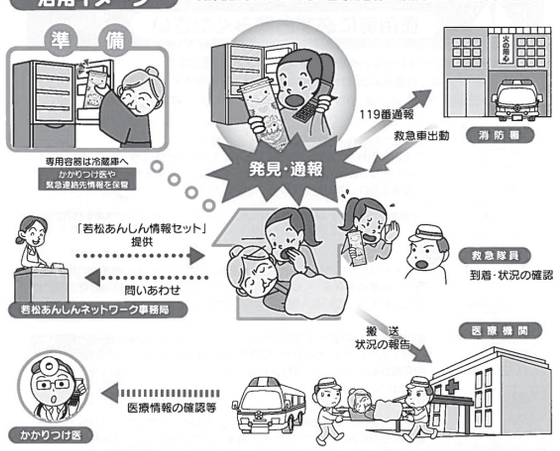
❷

若松あんしんネットワーク

若松あんしん情報セット 活用イメージ

【連絡を受けてかけつけた人】
■家族・医師・救急隊員等 ■民生委員等社会福祉関係者
■ヘルパー等福祉施設関係者 ■自治会等地域で活動する人

必要な情報を収集するため、必要に応じてA専用容器を活用します。本人が状況を伝えられないときはA専用容器の情報をかけつけた人が活用します。



B あんしん携帯カード、C 若松区あんしんホットラインの準備・保管

●記入するもの●
あんしん情報シートを参考に情報を書き写す。

●保管場所●
【Bあんしん携帯カード】
財布に入れて持ち歩くことで外出時でも安心!

【C若松区あんしんホットライン】
電話付近につるし、いつでも使えるようにしておく。困ったときや救急車到着までの応急手当の際に活躍します。

❸

高齢者・障害者・一人暮らしの不安も「へのかっぱ」!!
若松あんしん情報セット

若松あんしん情報セット 取扱説明書

使用前に必ずお読みください

この取扱説明書は、若松あんしん情報セットを利用する際に重要な注意事項を示しています。
よくお読みの上、仕組みを理解して正しくご利用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

A 専用容器

□冷蔵庫にA専用容器が保管され、指定の場所にシール等が貼られている場合は、専用容器保持者が情報の共有に同意したものとみなします。連絡を受けてかけつけた人は、救護活動のため状況に応じて、本人や同居人の同意を得ることなく、冷蔵庫を開けて情報を使用することがあります。

※指定の場所にシール等が貼られていないときは、かけつけた人が情報を利用できないことがありますので、同意する場合は、必ずシール等の掲示をお願いします。

B あんしん携帯カード

□連絡を受けてかけつけた人とは、主に医師・救急隊・行政等の関係者や民生委員等の社会福祉関係者、ヘルパー等の福祉施設関係者、その他自治会等地域で見守り活動を行っている人等を想定しています。

□A専用容器の情報は、連絡を受けてかけつけた人が救護活動に必要と判断した場合に活用します。そのため、A専用容器保持者とわかっている場合でも、その救護活動によっては、活用されない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

C 若松区あんしんホットライン

□取扱説明書にそってA専用容器を準備し、冷蔵庫に保管しているからといって、連絡を受けてかけつけた人が、その情報を必ず使用することを保障するものではありません。

□情報を活用する範囲は、その時の状況とかけつけた人の判断によります。医療情報はもちろん、その他の欄への希望や伝言等、あなたが記入した情報を元に状況に応じて救護活動に役立てますが、必ず実行されるものではないということをご理解いただき、ご了承の上ご利用ください。

＊ご注意
若松あんしん情報セットの利用において、救護活動に携わった「連絡を受けてかけつけた人」や、このセットを製作した「若松あんしんネットワーク」は、このセットを利用している人の救護活動において、下記の場合や何らかの問題があった場合でも、責任は負いかねますので、ご了承の上、自己の責任においてご利用ください。
▼かけつけた人が救護時に情報を使用しなかったことを理由にするもの
▼A専用容器で情報を保管している間に、不審者等に悪用され、損害を受けたことを理由にするもの

❹

あんしん情報セットパンフレット

若松あんしんネットワーク

A 専用容器の取扱い

A
- ①専用容器
- ②あんしん情報シート
- ③掲示用シール
- ④掲示用マグネット
- ⑤専用袋
- ⑥薬袋

「あんしん情報シート」の記入方法

記入見本：おもて

記入見本：うら

❶ 血液型を調べたことがない、わからない場合は不明と記入。

❷ マンション名、部屋番号まで記入。

❸ あなたの身体状況をよく把握している医療機関を優先して記入。

❹ 緊急時の連絡先を聞いている場合は、下段に記入。

❺ 伝えておきたい既往症、持病、投薬情報を記入。

❻ あなたのことをよく把握している方を優先して記入。

❼ 連絡先は、携帯電話など緊急時につながる番号がある場合は、下段に記入。

❽ 内容変更があるときは、二重線で消して朱書訂正。

❾ あなたのことをよく把握している福祉関係者を記入。特にケアマネジャーは必ず確認して記入。

❿ 特殊疾病がある場合の病院との取り決めごと、アレルギー、手術した病気等伝えておきたいこと、緊急時に役立つことがあれば記入。

⓫ A専用容器に入れている資料を確認し、資料数をいれておく

⓬ 内容をよく読み、同意いただいた上で、必ず、ご自身で記入日、名字とお名前すべてを記入。代筆の場合は、余白に代筆する方の氏名、関係も併せて記入。

⓭ 内容変更日・確認日を記入し、履歴を残す。

*あんしん情報シートに記入した情報に変更があったときは、速やかに朱書きで内容を書きかえ、変更した日もあわせて記入し、履歴を残してください。

❺

高齢者・障害者・一人暮らしの不安も「へのかっぱ!!!」
若松あんしん情報セット

A専用容器に一緒に入れるもの

あんしん情報シートと一緒に保管する情報は、状況に応じてコピーをとるなどして準備してください。なお、コピーの際には、コピー機の上に原本を置き忘れるなどして、紛失しないようご注意ください。

薬剤情報提供書（写し）

投薬情報・薬＝あんしん情報シートの欄ではすべて書けません。薬の写真つき「薬剤情報提供書」（写し）か薬の履歴が整理されている「くすりの手帳」（写し）を保管すれば、薬の名前、量がはっきり伝わります。薬袋に見本の薬を入れておくとよいでしょう。

くすりの手帳（写し）　薬

診察券＝かかりつけ医の情報は、あんしん情報シート等で整理されていますが、診療科目が多かったり、転記ミスに備えるため、補足情報として診察券（写し）を入れておくとよいでしょう。

診察券（写し）

写真＝保管されている情報が誰のものかわかるように入れます。裏面に名前を書くとよいでしょう。

写真（本人確認用）

※このA専用容器に、健康保険証の原本や財産にかかる情報を保管すると、盗難や悪用された場合、重大な被害を受ける恐れがありますので、絶対に保管してはいけません。

情報を保管しよう　～専用袋をA専用容器に入れ冷蔵庫へ～

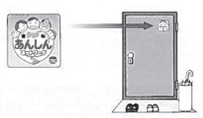
あんしん情報シートと医療情報が整理できましたら、専用袋に入れて、表面に名前を書きます。
袋を閉じてまるめてA専用容器に保管し、ふたを閉め、冷蔵庫に保管します。

①あんしん情報シートと医療情報を袋につめ名前を記入　②まるめてA専用容器の中へ　③冷蔵庫に立てて保管

マグネット・シールを貼る場所　～かけつけた人にわかりやすく～

長方形の掲示用マグネットは、白いところに油性ペンでかかりつけ医の連絡先を記入し、冷蔵庫に貼ります。磁石なので貼り直しができます。

正方形の掲示用シールは、はくり紙をはがして玄関のドアの室内側に貼ります。
貼り直しができませんのでご注意ください。

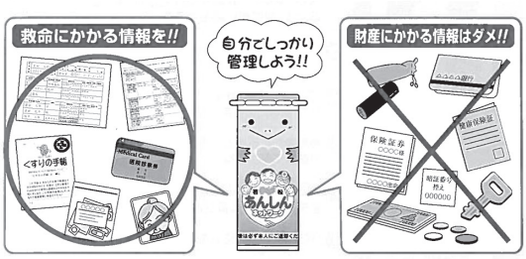


❻

若松あんしんネットワーク

情報の保管についての注意事項

この若松あんしん情報セットに記入・保管する情報は、
あなた自身の最も重要度が高い個人情報を含みますので、下記の事項を
よくお読みの上、保管する際は十分注意して管理するよう心がけてください。



重要 情報に変更があったら、速やかに訂正して緊急時に備えましょう。

□この若松あんしん情報セットに付属するA専用容器、Bあんしん携帯カード、C若松区あんしんホットラインに記入・整理する情報は、あなた自身の最も重要度が高い個人情報を含みます。この取扱説明書には、情報の整理の仕方や記入方法の例が記されておりますが、特にA専用容器に入れる情報やその範囲は、ご自身あるいは信頼できる家族や医療・福祉関係者と相談の上で十分検討し、ご自身の判断と責任でご記入・整理してください。

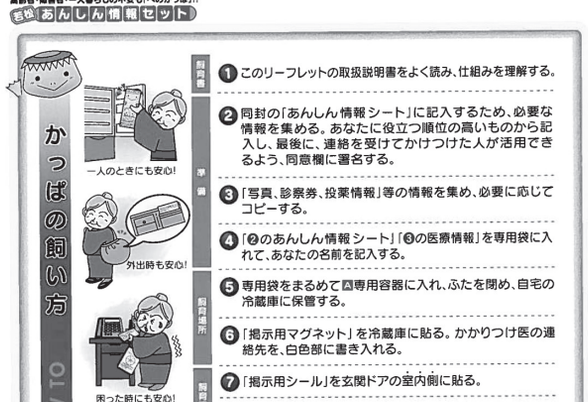
□保管している情報が現時点の最新の情報でなければ役に立ちません。記入したかかりつけ医や緊急連絡先等情報に変更があった場合は、速やかに訂正して使用してください。古い情報のままですと逆に救護活動の妨げになり、迅速な連携が取れない恐れがあります。情報の信頼度を測る目安として、記入日、変更日を必ず記しておき、履歴を残すことで、万一の緊急時に備えます。記入・変更の日付が近いほど最新の情報と思われ、逆に離れているほど、現状かどうか判断しづらくなり、情報の確認に時間を要することになります。

□A専用容器は、冷蔵庫に保管しているため、他の保管場所よりは、プライバシーの保護に配慮されていると考えられますが、安全のために定期的に保管状態を確認するようにしてください。

□A専用容器内に保管した情報は、悪用されるとあなたに重大な損害を与える恐れがあります。特に健康保険証の原本や財産にかかる情報などは、A専用容器の中に絶対に入れないでください。また、活用例以外のものをA専用容器に保管していると、かけつけた人が緊急時に使用しづらくなり、救護活動の妨げになる場合がありますのでご注意ください。

❼

高齢者・障害者・一人暮らしの不安も「へのかっぱ!!!」
若松あんしん情報セット



「若松あんしん情報セット」に含まれているもの

A
- □専用容器
- □あんしん情報シート
- □掲示用シール
- □掲示用マグネット
- □専用袋
- □薬袋

B □あんしん携帯カード

C □若松区あんしんホットライン
□リーフレット（取扱説明書）

〈利用対象者〉若松区に住む ❶高齢者 ❷障害者 ❸健康上不安を抱える人 等
「若松あんしん情報セット」が必要な方は、下記にお問い合わせください。

若松あんしんネットワーク（保健・医療・福祉・教育・地域）
http://www.web-press.co.jp/wakamatsu_ansin/

製作・発行／若松あんしんネットワーク
（若松区保健・医療・福祉・教育・地域連携推進協議会）
事 務 局／若松区役所まちづくり推進課 2F
〒808-8510 福岡県北九州市若松区浜町1-1-1
TEL(093)761-5321 内線460

❽